

戦略5 デジタル技術で住みよい明日を切りひらく

計画期間 令和6年度～令和10年度

主管部局 企画政策部 関係部局 経済部

【戦略実現に向けた施策の方向性】

- スマートフォンなどを用いて、自身の健康の保持・増進を図る取組を推進します。
- 江別市の魅力である「食」と「農」を守り、育てるため、負担軽減などにつながるAI等の先端技術の導入を推進します。
- デジタル技術は、様々な分野での活用が想定されることから、時代の変化に応じて、積極的に取り入れ、豊かな暮らしをつくります。
- 市民がデジタル化の便利さを実感できるように支援します。

【戦略を構成する具体的施策の事業費推移】

| 名 称 | 決算額 | | | | | | | | | |
|---------------|--------|----|-------|----|-------|----|-------|----|--------|----|
| | 令和6年度 | | 令和7年度 | | 令和8年度 | | 令和9年度 | | 令和10年度 | |
| (1) デジタル技術の活用 | 10,256 | 千円 | | 千円 | | 千円 | | 千円 | | 千円 |
| (2) 農業経営の安定化 | 30,696 | 千円 | | 千円 | | 千円 | | 千円 | | 千円 |
| 計 | 40,952 | 千円 | | 千円 | | 千円 | | 千円 | | 千円 |

戦略実現に向けての数値目標

◆数値目標（1） デジタル技術を活用したまちづくりが進んでいると思う市民割合（単位：％）

| 現状値 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 目 標 |
|------|-------|-------|-------|-------|--------|------|
| 19.4 | 24.1 | | | | | 25.0 |

◆数値目標（2） 日常生活にデジタル技術を取り入れている市民割合（単位：％）

| 現状値 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 目 標 |
|------|-------|-------|-------|-------|--------|------|
| 86.8 | 86.6 | | | | | 90.0 |

具体的施策 (1) デジタル技術の活用

デジタル技術やICT（情報通信技術）などを活用し、市民サービスの充実や行政事務の生産性の向上を図るとともに、市民にとって、快適で豊かな暮らしを営むことのできる生活環境の実現を目指します。

◆重要業績評価指標（KPI） eダイアリーのユーザー数（累計）（単位：人）

| 現状値 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 目標 |
|-----|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 384 | 7,361 | | | | | 20,000 |

■成果動向（令和6年度の評価）

市民の健康保持・推進を目的とした「生涯健康プラットフォーム推進事業」において、ユーザー拡大を図るため、以下の取組を実施しました。

- ・健康イベント等において、事業内容の紹介とともに、eウオッチ及びスマートフォンの貸与専用ブースを開設し、PR活動を展開しました。
- ・市内の四大学において、eウオッチ貸与ブースを設置し、大学生等への普及・啓発活動を行いました。
- ・既存ユーザーを対象に、健康ポイントを活用したキャンペーンを実施し、ユーザーの継続利用を促進しました。
- ・窓口に設置されているデジタルサイネージを活用し、PR動画を放映するなど広報活動を強化しました。
- ・令和6年10月に「生涯健康プラットフォーム実装協議会」を設立し、事業推進の体制を整えるとともに、円滑な推進とさらなる充実を図りました。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進の方向性）

- ・「生涯健康プラットフォーム実装協議会」が提供するデジタル技術を活用した市民サービスに対し、PR活動等の支援を継続します。
- ・「生涯健康プラットフォーム実装協議会」の設立を受け、引き続き民間事業者を中心に事業内容の精査や継続利用を促す仕組みづくりを検討します。

<課題>

- 市民がデジタル化の便利さを実感できる市民サービスの検討が必要
- デジタル技術を活用した健康管理の更なる普及促進策の検討が必要
- eダイアリー等の利用促進に係る市民PRが必要

<取組の概要>

- ・行政手続等のデジタル化を実施し、市民の利便性の向上を図る
- ・北海道情報大学等と連携しながら、生涯健康プラットフォーム推進事業を実施
- ・市ホームページやイベント出展などを通じて、市民PRを実施

| 事務事業 | 成果指標 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 備考 |
|------------------|------------------|-----------|-------|-------|----|
| 生涯健康プラットフォーム推進事業 | 地域生活の幸福度割合（健康状態） | 81.7 % | | | |
| | 事業費 | 10,256 千円 | 千円 | 千円 | |

具体的施策 (2) 農業経営の安定化

農業の担い手の育成・確保をはじめ、経営規模の拡大や、収益性の高い農産物の生産、デジタル技術の活用などにより、生産性の高い安定した農業経営を推進します。

◆重要業績評価指標 (KPI) 補助金交付件数のうち、スマート農業機械等対象分 (累計) (単位: 件)

| 現状値 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 目標 |
|-----|-------|-------|-------|-------|--------|----|
| 0 | 0 | | | | | 5 |

■成果動向 (令和6年度の評価)

第5次江別市農業振興計画の展開項目の一つである「農業経営の安定化」に向けて、生産性の高い安定した農業経営を推進するため、次の取組を進めました。

- ・RTK基地局等、農業者ニーズが高いスマート農業技術について、実機を用いた試行調査を実施しました。
- ・農業者や農業関係機関などとワークショップを3回開催 (参加者延べ81名) し、先進事例の紹介なども踏まえ、当市の農業形態に最適なスマート農業の推進方法について意見交換を行いました。
- ・スマート農業に関するデジタル技術は汎用性が高いことから、多用途活用に向けた調査研究を行いました。
- ・採択には至らなかったものの、国の農業用機械導入に係る補助制度を周知し、経営規模の拡大や経営の多角化に取り組む農業者のスマート農業機械導入を支援しました (申請件数1件)。

■改善案 (次年度へ向けた展開・課題・推進の方向性)

- ・引き続き、実機を用いた試行調査を行うとともに、ワークショップ等で農業者や農業関係機関のニーズを確認しながら、当市の農業形態に最適なスマート農業の推進方法について検討します。
- ・庁内関係部署において、スマート農業に関するデジタル技術の多用途活用を検討します。
- ・自動操舵システム購入費用の一部を補助し、スマート農業機械の導入を促進します。

<課題>

- スマート農業に係る技術は多岐に渡ることから、当市の少量多品目という営農環境に最適な手法の検討が必要
- RTK基地局などの通信環境整備の検討が必要
- 通信環境整備のための事業規模の検討が必要
- 農業分野以外の多用途活用についての検討が必要
- スマート農業に係る農業機械の導入に係る支援策の検討が必要

<取組の概要>

- ・スマート農業に係る利用ニーズ調査を実施
- ・現行のRTK基地局などの通信環境の調査を実施
- ・実機を用いて、通知環境の改善に係る試行調査を実施
- ・防災や除雪など農業分野以外の多用途活用について検討を進める
- ・ワークショップによる農業者との合意形成を図る

| 事務事業 | 成果指標 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 備考 |
|--------------|-------------------------|-----------|-------|-------|----|
| 地域農業経営安定推進事業 | 補助金交付件数のうち、スマート農業機械等対象分 | 0 件 | | | |
| | 事業費 | 219 千円 | 千円 | 千円 | |
| スマート農業推進検討事業 | 検討結果報告書 | 1 式 | | | |
| | 事業費 | 30,477 千円 | 千円 | 千円 | |